

## 「東北・新潟の活性化応援プログラム」2022年助成団体一覧

## 1. 特別助成団体（助成金：100万円）

団体名（所在地）	具体的な活動内容	活動の様子
一般社団法人子育てプラットフォーム MaRU （宮城県仙台市）	子育て支援施設の運営等を通じ、親子がふれあう時間や子育て情報を提供。宮城県の子育て情報を集めた「マタニティBOX」を製作・配布することで、妊婦が出産前から各種支援や地元企業と継続的につながる機会を創出し、地域・企業一体となった子育て支援体制づくりを目指す。	

## 2. 助成団体（助成金：30万円）

団体名（所在地）	具体的な活動内容	活動の様子
下北ジオパークガイドの会 （青森県むつ市）	ユネスコ世界ジオパーク認定を目指し、下北ジオパークを活用したガイド活動、地域の魅力発信に取り組む。下北ジオパークに関する地元住民等へのさらなる理解浸透を図るため、リモートツアーの企画やオンラインを活用したガイド研修を実施し、地域間交流の拡大を目指す。	
株式会社北三陸ファクトリー （岩手県九戸郡洋野町）	洋野町を舞台に地元の中高生と大人が学び合うフィールドワークや、地域外の学生に向けた水産業を基点とするスタディーツアー等を展開。産業廃棄物となっている「うに殻」を肥料に、耕作放棄地を造成した水田で、酒米を生産し日本酒を作る。その一連のプロセスを体験コンテンツとして提供することで、地域内外のコミュニティを生み出す場とし、関係人口の拡大を図る。	

団体名（所在地）	具体的な活動内容	活動の様子
<p>Alfrece composition 株式会社 （秋田県由利本荘市）</p>	<p>秋田県産米のもみ殻と秋田杉の木くずを利用してぶなしめじを生産し、環境に配慮した生分解性フィルムで包装し県外へ出荷する。加えて、販路拡大等に課題を抱える高齢農家にも利用しやすい農作物の受発注サービスを開発し、普及・促進を図り、地元農業の活性化を目指す。</p>	
<p>Team 道草 （山形県山形市）</p>	<p>山形大学の学生が、地元住民へのヒアリングを実施し、地域の課題等を把握。学生の手で魅力的なプログラムに落としこみ、体験コンテンツとして同世代の学生に提供することで、若者が地域に愛着を持つためのきっかけづくりに取り組む。</p>	
<p>しゅふコミ （福島県郡山市）</p>	<p>子育て中の母親向けに、座談会を開催。座談会で出た課題を解決するための地域情報をまとめた冊子を作成し、行政より母子手帳とともに配布。また、6次化商品を提供する託児付カフェを運営し、父親と母親がともに休息をとりながら、商品モニターとしての役割を担う場とすることで、6次化事業者と消費者をつなぐ仕組みを構築する。</p>	
<p>合同会社 ミライズ （新潟県新発田市）</p>	<p>廃業店舗が増加する状況に対し、地域全体を活性化するため「歩いて楽しい温泉街」を目指し活動。地域に点在する空き店舗等を飲食店や土産店としてリノベーションし、温泉街の周遊性の向上に取り組む。今後、新潟のメインコンテンツである“米”をテーマにしたショップをオープンし、観光客へ新潟県産米をPRする。</p>	

以上